

健康·保健

## ① 検(健)診事業

問い合わせ

健康推進課  
(能美市健康福祉センター)  
「サンテ」内1階  
☎58-2235  
☎58-6897

## 1 健康診査・がん検診

「健康診査」および「がん検診」が受けられます。がん検診は、集団検診または医療機関検診のどちらかを選択できます。フレッシュ健診、がん検診は、会社等で受診機会のない人が受けられます。

## 【健康診査】

健診の種類	内容	対象者 (対象年齢は翌年4月1日現在) ※フレッシュ健診除く	受診場所	受診料金(一部負担金)
フレッシュ健診	問診、身体計測、尿検査、血液検査、 血圧測定、診察	19～39歳 (対象年齢は翌年3月31日現在)	集団健診	500円
長寿健診	問診、身体計測、尿検査、血液検査、 血圧測定、診察	75歳以上 (後期高齢者医療加入者)	医療機関健診	無料
肝炎ウイルス検査	B型・C型肝炎ウイルス検査 (特定健診の血液検査と同時に採 血できます。)	40歳 41歳以上で過去に 受けていない人	集団健診	無料
歯周疾患検診	問診、歯周組織検査	①20・30・40・50・60・70歳 ②前年度の特定健診で 糖尿病の検査結果が高い 値だった方。 ①②の方に個別通知し ます。	指定医療機関	300円

※特定健診はP76に記載してあります

## 【がん検診】

健診の種類	内容	対象者(対象年齢は翌年4月1日現在)	受診方法	受診料金(一部負担金)
前立腺がん検診	血液検査でPSA(前立腺特異抗原) を測定	50～74歳の男性	集団検診	100円
			医療機関検診	100円
肺がん検診	①胸部エックス線検査(集団のみ) ※結核検査も合わせて実施 ②胸部CT検査 ③喀痰(かたん)検査	①40歳以上 ※結核検査は65歳以上 ②50・55・60・65・70歳 ③50歳以上の必要者のみ (喫煙者などハイリスク者)	集団検診	①無料 ②700円 ③200円
			医療機関検診	②1,000円 ③400円
胃がん検診	胃部エックス線検査 (バリウムを飲んで検査します。)	40歳以上	集団検診	500円
	胃管内視鏡(胃カメラ)検査 ※2年に1回の受診間隔です。	40歳以上	医療機関検診	1,300円
大腸がん検診	便潜血検査 (2日分の便をとり、血液を検出す る検査です。)	40歳以上	集団検診	200円
			医療機関検診	300円
子宮頸がん検診	子宮頸がん検診 (子宮の入口の細胞を取って顕微 鏡で検査します。細胞診で2次検 診が必要と判断された場合は、同 時にHPV検査を実施します。)	20歳以上の女性	集団検診	400円
			医療機関検診	700円
乳がん検診	乳房エックス線撮影(マンモグラフィ) ※2年に1回の受診間隔です。	40歳以上の女性	集団検診	500円
			医療機関検診	600円

## 問い合わせ

## 健康推進課

(能美市健康福祉センター)  
「サンデ」内1階  
☎58-2235  
☎58-6897

## 2 人間ドック・脳ドック

## 【種類、対象年齢】

- 血管ドックコース：(国保)30歳以上75歳未満の人(国保外)40・45・50・55・60・65・70歳  
節目年齢(30、35、40、45、50、55、60、65、70歳)の人は75g糖負荷検査を実施します。
  - がんドックコース：(国保)40歳以上75歳未満の人(国保外)40・45・50・55・60・65・70歳
  - 脳ドックコース：50・55・60・65・70歳
- ※対象年齢は年度末日(3月31日)を基準とします。  
※各コースを自由に組み合わせることができます。

## 【対象者】

- 市内に住所がある人
- 国民健康保険の被保険者、または当該検査費用助成を受けられない社会保険などの被保険者および被扶養者
- 市税等を滞納していない人

## 【対象とならない人】

- ※年度内に同一のドックコースを受けた人
- ※年度内に市の健康診査(フレッシュ健診・特定健康診査)を受診した人は、血管ドックコースは受けられません。
- ※年度内に市のがん検診(女性がん除く)を受診した人は、がんドックコースは受けられません。

## 【実施医療機関】

能美市立病院、寺井病院、芳珠記念病院

## 【申請方法】

健康保険証を持参の上、健康推進課、市民サービス課、または、各サービスセンターにて申請書を記入してください。お手持ちのスマートフォンから電子申請もできます。

## 3 全身がん検査(DWIBS・PET検査)費用助成

がん検診や人間ドックとあわせて全身のがん検査を受けることで、がんの早期発見・早期治療を図り、健康な状態を長く維持するためにDWIBS検査およびPET検査の費用助成を実施します。

## 【助成額】

健康保険組合等からの助成	DWIBS検査	PET検査
なし	検査費用の2割(上限7,000円)	検査費用の2割(上限10,000円)
あり	(検査費用－健康保険組合等からの助成額)の2分の1 または 検査費用の2割(上限7,000円)のいずれか低い額	(検査費用－健康保険組合等からの助成額)の2分の1 または 検査費用の2割(上限10,000円)のいずれか低い額

- ・助成額は、1,000円未満は切り捨てとなります。
- ・ご加入の健康保険組合等からの助成がある場合は、健康保険組合等からの助成が優先されます。

## 【対象者】 下記の条件をすべて満たす方

- ・検査を受ける日に能美市内に住所がある40歳以上75歳未満の方  
(対象年齢は年度末(3月31日)を基準)
- ・前年度に助成を受けていない方(2年に1度の助成)
- ・がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん)をすべて受診している者

※悪性腫瘍以外の疾患で治療中などにより、がん検診を受診する必要がない場合は、健康推進課にご相談下さい。  
※市税等に滞納がある方は、助成が受けられない場合があります。

## 【指定医療機関】 能美市立病院・芳珠記念病院(DWIBS検査のみ)

## 【申請方法】

- ・健康推進課または市民サービス課、寺井・根上サービスセンターで申請ができます。
- ・お手持ちのスマートフォン、パソコンからも電子申請できます。

## ② 教室・その他の事業

## 1 健康教室および相談

健康教室の開催日時や内容などについての詳細は、随時市広報紙などでお知らせします。

種別	対象者	内 容
生活習慣病予防教室 (健診結果学習会)	健康診査受診者	運動や栄養など生活習慣改善の学習
健康づくり学習会	一般市民	生活習慣病予防・健康増進など、市民の要望内容による学習会(出前講座)
栄 養 教 室	一般市民	食生活や生活習慣の振り返り、健康づくりについての学習会
食育クッキング	一般市民	サンテ内キッチンスタジオを利用した幅広い世代への食育推進活動
健 康 相 談	一般市民	血圧測定・保健指導など

## 2 健康づくり

種別	対象者	内 容
健康づくり推進員	健康づくり活動に関心があり、行政と地域のパイプ役を担う人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康講座などの学習会の開催</li> <li>● 地域と行政のパイプ役となり、地域に健康づくり活動を紹介し普及していきます。[現在の推進員数]79人 [任期]2年</li> </ul>
食生活改善推進員	栄養教室修了者	地域の食生活改善や健康づくりの普及活動

## 3 たばこ対策

種別	対象者	内 容
禁煙外来治療費 助成事業	満20歳以上で、これまでにこの助成金またはその他の助成金等の交付を受けていない人	禁煙外来治療に公的医療保険を適用して治療を完了した人に、助成対象経費の2分の1(上限1万円)を1人1回助成

## 4 糖尿病性腎症重症化予防対策

種別	対象者	内 容
糖尿病合併症検査費用助成事業	満19歳以上で市内かかりつけ医において、糖尿病治療中の人	市内かかりつけ医から紹介を受けて市内糖尿病専門医療機関で糖尿病合併症検査(かけはしチェック)を受けた人に、助成対象経費の2分の1(上限5千円)を1人年1回助成

## 問い合わせ

## 健康推進課

(能美市健康福祉センター)  
「サンデ」内1階  
☎58-2235  
☎58-6897

## ③ 母子保健事業

母子保健事業は、元気な赤ちゃんを産み育てるため発達段階に応じて健康診査を実施し、お母さんとお子さんの健康の保持増進を推進します。

また出産子育て応援事業では、妊娠がわかった時から出産、育児まできめ細かくサポートする切れ目のない支援を、母子保健コーディネーター(保健師・助産師・栄養士等の専門職)が行います。

## 1 妊娠したとき

種別	対象者	内容
低所得妊婦に対する初回産科受診料助成事業	住民税非課税世帯又は生活保護世帯の妊婦	対象の方の妊娠後の初回産科受診料を支援します。対象の方は申請してください。
母子健康手帳交付	妊婦	母子健康手帳は、健診や予防接種のときなどの健康の記録として利用いただくものです。手続きには、医療機関などで発行された妊娠届出書等を持参ください。 ※個人番号の記載が必要になります。(表1ページ参照)
妊婦一般健康診査(妊娠中14回)	妊婦	市が発行する受診票を利用して、県内の産婦人科の病院または診療所、助産院で健康診査を受けてください。
双子・三つ子等を妊娠した方の妊婦健康診査	妊婦	双子・三つ子等を妊娠した方の妊婦健診費用(保険診療外)6回分を助成します。対象者は申請してください。
妊婦一般健康診査(出産予定日超過分)	妊婦	出産予定日を超過した妊婦健診費用(保険診療外)3回分(15回~17回分)を助成します。対象者は申請してください。
妊婦歯科健康診査	妊婦	妊娠中期に、市が発行する受診票を利用して指定歯科医療機関で歯科健康診査を受けてください。
妊婦健康相談・訪問	妊婦	妊娠期の希望者に、保健師や助産師、栄養士が家庭訪問や相談に応じます。
マタニティクラス	妊婦・夫	妊娠期の健康や子育てについての講座です。
プレママ訪問	妊娠8か月頃を迎える妊婦	助産師が訪問して、出産に対する不安や準備に関するアドバイスをします。産後利用可能なサービスも、改めてお伝えします。乳房チェックも行います。
県外での妊産婦一般健康診査、新生児聴覚スクリーニング検査、乳児1か月児健康診査	妊婦 産婦 乳児	里帰りなどで、県外で受けた妊産婦健康診査、新生児聴覚スクリーニング検査、乳児の1か月健診の費用(保険診療外)を助成します。対象者は申請してください。

## 【出産子育て応援事業】

項目	対象者	内容・日数等	利用料(1日あたり)		
				課税世帯	非課税世帯
産後ケア事業	産後1年以内の産婦、乳児で産後の体調不良や育児不安などがある人	市が委託する施設でのショートステイ(宿泊)、デイケア(日帰り)、または助産師による訪問で、母体ケア、授乳・育児指導などが受けられます。利用は7日間まで	ショートステイ	7,500円	2,500円
			デイケア、訪問	1,500円	500円
			生活保護世帯は免除		
産前産後子育て応援ヘルパー派遣事業	産前、産後間もない時期の妊産婦で、産前の体調不良等または産後間もない時期家族からの援助が受けられない人	子育て応援ヘルパーが簡単な家事または育児のお手伝いをします。 1日の利用は4時間まで		課税世帯	非課税世帯
			最初の1時間	600円	300円
			30分毎追加	300円	150円
生活保護世帯は免除					
子育て応援弁当(夕食)	産前から原則産後2か月までの妊産婦とその家族。原則核家族で支援を受けられない世帯で、①又は②のいずれかに該当 ①産前産後休業中の人 ②体調に不安がある人	月6回程度、栄養士の献立によるお弁当を、各地区の主任児童委員が配達します。1世帯3食まで ※実施:能美市社会福祉協議会 ※申請方法:能美市社会福祉協議会へお尋ねください。	2食まで1食250円、 3食目のみ350円		

## 母子保健コーディネーターが切れ目なくサポートします

## 【妊娠】

母子健康手帳交付  
妊婦一般健康診査（14回＋予定日超過分）  
双子・三つ子等を妊娠した方の妊婦健康診査  
妊婦歯科健康診査  
マタニティクラス（3回）  
プレママ訪問  
産前産後子育て応援ヘルパー派遣  
子育て応援弁当

## 【出産】

産後ケア事業  
おっぱいの相談日  
産婦健診、乳児健診  
新生児訪問・産婦訪問

## 【子育て】

乳幼児健康診査、離乳食・幼児食教室  
祖父母教室  
育児相談  
各種相談事業

## 2 赤ちゃんが生まれてから

種別	受診時期・対象者	内容
新生児聴覚スクリーニング検査	出生後すぐ	市が発行する受診票を医療機関に提出し、実際の検査費用から助成額を差し引いた額を医療機関へお支払いください。
産婦一般健康診査 （出産後1回）	産後1か月頃	市が発行する受診票を利用して、県内の産婦人科の病院または診療所で健康診査を受けてください。
産婦健康相談・訪問	産婦	出産後の希望者に、保健師や助産師、栄養士が家庭訪問や、相談に応じます。
乳児一般健康診査	1か月頃まで	市が発行する受診票を利用して、県内の産婦人科、小児科、内科の病院または診療所で健康診査を受けてください。
赤ちゃんの家庭訪問	2か月頃	保健師または助産師が家庭訪問します。
育児相談	乳幼児期	希望者に保健師・助産師・栄養士・臨床心理士・言語聴覚士等が相談に応じます。
おっぱいの相談日 （まちの授乳室）	妊婦～産後3か月頃の産婦	助産師が授乳や乳房管理について相談に応じます。
4か月児健診	3か月～4か月頃	身体計測、内科診察、離乳食指導、保健相談、子育てに関する相談
7か月児の離乳食教室	7か月頃	身体計測・離乳食指導・試食
10か月児相談	10か月頃	身体計測、離乳食指導・試食、保健相談、ブックスタート、子育てに関する相談
乳児一般健康診査	9か月～1歳1か月まで	市が発行する受診票を利用して、県内の小児科、内科の病院または診療所で健康診査を受けてください。
1歳3か月児の幼児食教室	1歳3か月頃	身体計測・幼児食指導・試食・歯科指導
1歳8か月児健診	1歳8か月頃	身体計測・内科診察・歯科診察および相談・栄養相談・保健相談・子育てに関する相談
3歳6か月児健診	3歳6か月頃	身体計測・尿検査・視力検査・内科診察・歯科診察および相談・栄養相談・保健相談・子育てに関する相談
乳幼児電話相談・訪問	乳幼児	保健師・栄養士・助産師が電話相談や家庭訪問に応じます。

## 3 子育てアプリ「はぐはぐ」

能美市では子育てアプリ「はぐはぐ」を提供しています。お子さまの成長記録に加え、医療機関での予診票の記入が不要になるデジタル予診票サービス、予防接種の接種歴が管理できます。このほか、地域の子育て情報を配信しています。右記QRコードよりダウンロードし、母子健康手帳と併せてお使いください。



## 問い合わせ

健康推進課  
 (能美市健康福祉センター)  
 「サンデ」内1階  
 ☎58-2235  
 ☎58-6897

## ④ 予防接種事業

## 予防接種一覧

## ■ 乳幼児個別接種 (指定医療機関で実施)

種別	対象者	接種方法
五種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ、Hib) または四種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ) 〈初回①②③・追加〉	生後2か月～7歳6か月未満	〈初回①②③〉 20日以上の間隔で3回接種 〈追加〉 初回③接種後、6か月以上の間隔を置いて1回接種
Hib感染症*1 〈初回①②③・追加〉	初回接種時 生後2か月～7か月未満 (標準)	27日以上の間隔で3回(1歳に至るまでに完了) 初回③接種から7か月以上の間隔を置いて1回接種
	生後7か月～1歳未満	27日以上の間隔で2回(1歳に至るまでに完了) 初回②接種から7か月以上の間隔を置いて1回接種
	1歳～5歳未満	1回接種
小児の肺炎球菌感染症 〈初回①②③・追加〉	初回接種時 生後2か月～7か月未満 (標準)	27日以上の間隔で3回(初回②は1歳、初回③は2歳に至るまでに完了)、初回③接種から60日以上あけて1回(生後12か月以降に)接種
	生後7か月～1歳未満	27日以上の間隔で2回(2歳に至るまでに完了)、初回②接種から60日以上あけて1回(生後12か月以降に)接種
	1歳～2歳未満	60日以上の間隔を置いて2回接種
	2歳～5歳未満	1回接種
BCG	生後～1歳未満 (標準的な接種期間：生後5か月～8か月未満)	1回接種
麻しん風しん(MR) 〈1期・2期〉	1期：1歳～2歳未満 2期：小学校就学前の1年間	〈1期〉 1回接種 〈2期〉 1回接種
日本脳炎 〈1期初回①②・1期追加〉	6か月～7歳6か月未満 (標準的な接種期間：3歳～)	〈1期初回①②〉 6日以上の間隔を置いて2回接種 〈1期追加〉 1期初回②接種後、6か月以上の間隔を置いて1回接種 (3歳6か月児健診で予診票を配付) *2
水痘	1歳～3歳未満	3か月以上の間隔を置いて2回接種
B型肝炎	生後～1歳未満 (標準的な接種期間：生後2か月～)	27日以上の間隔を置いて2回接種 第1回目の接種から20週以上の間隔を置いて1回接種
ロタウイルス感染症 注：ロタリックスかロタテックのいずれかを接種(経口接種)	ロタリックス(2回)： 生後6週から24週 ロタテック(3回)： 生後6週から32週	27日以上の間隔を置いて2回もしくは3回接種 (標準的には生後2か月～出生14週6日までに1回目を接種)

\*1 五種混合を接種する場合は含まれているので不要

\*2 3歳6か月児健診前での接種を希望の場合、健康推進課へ電話等でお知らせ下さい。

## ■ 児童・生徒個別接種 (指定医療機関で実施)

種別	対象者	接種方法
日本脳炎〈1期特例接種〉	20歳未満まで(～平成19年4月1日生まれ)	1期接種(初回2回、追加1回の計3回の不足の回数を接種)
日本脳炎〈2期特例接種〉	20歳未満まで(～平成19年4月1日生まれ)	1回接種*3
日本脳炎〈2期〉	9歳以上13歳未満	1回接種*3
二種混合(ジフテリア、破傷風)	11歳以上13歳未満	1回接種
ヒトパピローマウイルス感染症 (子宮頸がん)	定期接種：小学6年～高校1年相当の女子 キャッチアップ接種：平成9年4月2日～平成20年4月1日 生まれの女子(キャッチアップ接種期間：令和7年3月31日まで)	3回接種 ワクチンの種類などによって 回数異なる場合があります。

\*3 1期接種(初回2回、追加1回の計3回)が終了していない場合は、不足分を接種してから2期の接種をします。

問い合わせ

健康推進課  
 (能美市健康福祉センター)  
 「サンテ」内1階  
 ☎58-2235  
 ☎58-6897

## ■成人個別接種（指定医療機関で実施）

種別	対象者	接種方法
インフルエンザ 新型コロナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●65歳以上の人</li> <li>●60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいのある人(内部障害1級相当)</li> </ul>	1回接種(自己負担あり) <sup>※4</sup>
肺炎球菌 感染症	次の①又は②に該当し、過去に23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンを接種していない人 ①満65歳の人 ②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある人(内部障害1級相当)	1回接種(自己負担あり) <sup>※4</sup>
風しん	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性で、風しん抗体検査の結果、十分な量の抗体がない人</li> </ul> 実施期間:～令和7年3月31日まで	1回接種(自己負担なし)

※4 介護保険料の所得段階が第1～3段階に該当する人(世帯全員が市民税非課税の人)は一部負担金が半額免除、生活保護世帯に該当する人は一部負担金が全額免除されます。

## ⑤ 予防接種費用助成事業

任意予防接種の接種費用の一部を助成します。

## ■子どもの任意予防接種の費用助成

## 【助成券方式（事前申請不要）】

- ・対象者全員に助成券を配布します。
  - ・助成券を持参のうえ医療機関で接種し、助成金額を引いた費用を医療機関の窓口でお支払いください。
  - ・生活保護世帯の人は、全額助成となります（健康推進課へご連絡ください）。
  - ・市外医療機関で助成券を利用される際は、予めご希望の医療機関にご確認ください。
- 〈注意事項〉・再発行はできません。紛失しないよう、ご利用になるまで大切に保管してください。

種別	配布時期	配布方法	助成対象者	回数	使用期限	助成金額
インフルエンザ	10月頃	ハガキ郵送 ※1	生後6か月～小学6年生	年度に2回助成	ハガキ到着 ～3月末まで	1回2,000円
			中学1年生～高校3年生相当	年度に1回助成		

※1 今年度9月生まれの子は、4か月児健診にて助成券をお渡しします。

種別	配布時期	配布方法	助成対象者	回数	使用期限	助成金額
おたふくかぜ	1回目:生後2か月頃 2回目:3歳6か月頃	1回目:赤ちゃん訪問 2回目:3歳6か月児健診	満1歳～年長児	1人2回 助成	満1歳～年長児 の3月末まで	3,000円

## 問い合わせ

## 健康推進課

(能美市健康福祉センター)  
「サンデ」内1階  
☎58-2235  
☎58-6897

## ■肺炎球菌感染症任意予防接種の費用助成

- 肺炎球菌ワクチン（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）

種別	申請方法	助成対象者	助成回数	助成金額
肺炎球菌感染症	償還(立替払い)方式 ◎接種月の翌月から 数えて6か月以内に申請	65歳以上の人で、接種した日及び助成金を申請した日に能美市に住所を有する人(下記①又は②に該当する場合) ①23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン 予防接種未接種の人 ②23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン 接種を受けてから5年以上経過した人	1回	上限 4,000円 (接種費用と 比較して安い金額)

## ■妊婦のインフルエンザ任意予防接種の費用助成

- インフルエンザワクチン

種別	申請方法	助成対象者	助成回数	助成金額
インフルエンザ	償還(立替払い)方式 ◎接種月の翌月から 数えて6か月以内に申請  〈 令和6年度 助成対象接種期間〉 令和6年10月1日～ 令和7年3月31日	下記の①と②に該当する人 ①接種した日及び助成金を申請した日において 能美市に住所を有する人 ②母子健康手帳の交付を受けた妊婦 ※接種時に母子健康手帳の交付を受けている こと	1回	上限 2,000円 (接種費用と 比較して安い金額)

## ■子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）予防接種の費用助成

- 子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）

種別	申請方法	助成対象者	助成回数	助成金額
子宮頸がん 予防ワクチン (HPVワクチン)	償還(立替払い)方式 ◎申請期限： 令和7年3月31日まで	(1)～(6)の全てに該当する人 (1)令和4年4月1日時点で市内に住所を有する人 (2)平成9年4月2日～平成17年4月1日に生まれた女子 (3)16歳になる年度(高校1年生相当)の年度末までにHPVワクチンの定期接種において3回の接種を完了していない人 (4)17歳になる年度(高校2年生相当)以降令和4年3月31日までにサーバリックス(2価ワクチン)またはガーダシル(4価ワクチン)の接種を国内で自費で受けた人 (5)償還払いを受けようとする接種回数分についてキャッチアップ接種を受けていない人 (6)償還払いと同種の費用の助成を能美市以外の市区町村から受けていない人	上限3回	1回上限 16,000円 (上限3回 48,000円)